

●港特別支援学校改築に係る保護者説明会でいただいた質問及び回答について

○校舎について

【質問１】

校舎改築後に新設される小・中学部は同一敷地内に校舎があるという認識で良いか。

【回答】

改築後は、高等部と小中学部を同一敷地内の建物に設ける予定です。小中学部を新設する予定であるので、在籍する児童生徒数に合わせて普通教室の数は増加させる想定です。

【質問２】

仮設校舎の面積は、現在の港特別支援学校と比較して増えるのか。

【回答】

仮設校舎の面積について、調整中で確定はしていませんが、現在の校舎と同規模の敷地面積を確保する見込みです。

仮設校舎の敷地内にはスクールバスや放課後等デイサービスの車両も駐車できるスペースを確保する予定です。

【質問３】

仮設校舎は耐震性等で問題は無いか。

【回答】

都立特別支援学校の仮設校舎は必要な耐震性能・設備機能を満たす設計です。

【質問４】

仮設校舎に体育館やプールを設けるのか。

【回答】

仮設校舎には体育館やプールは設けない予定です。体育やプール授業については、近隣区有施設等を借りるなどにより、これまでの教育活動を継続していきます。

【質問５】

仮設校舎の場所が自宅から離れてしまう。中央区晴海二丁目以外に候補地は無いのか。

【回答】

港特別支援学校の施設は老朽化していることに加え、在席する生徒の増加により普通教室を確保するため、特別教室から普通教室への転用などが発生しており、老朽化と生徒数増への対応は喫緊の課題と考えております。

課題解決に向けた工事を実施するためには、仮設校舎の設置が不可欠となりますが、現在の港特別支援学校の校舎は約１万㎡あり、仮設校舎も同程度の面積が必要になります。

候補地については、都有地、国有地、区有地を検討しましたが、港特別支援学校の通学区域内には見つかりませんでした。

突然のお知らせとなり、ご心配をおかけしたことをお詫びします。老朽化と在籍者数の増加への対応のため、中央区晴海二丁目での仮設校舎建設に御理解と御協力をお願いします。

【質問６】

仮設校舎は福祉避難所に設定されるのか。

【回答】

福祉避難所としての設定については、仮設校舎を設置する自治体である中央区と今後、調整する予定です。

【質問７】

品川特別支援学校は在籍者数の規模に対して、スクールバスや放課後等デイサービスの車両を駐車するスペースが足りない状況だが、仮設校舎の面積は、現在の港特別支援学校と比較して増えるのか。

【回答】

仮設校舎の面積について、調整中で確定はしていませんが、現在の港特別支援学校校舎と同規模の敷地面積を確保できる見込みです。

仮設校舎の敷地内にはスクールバスや放課後等デイサービスの車両も駐車できるスペースを確保する予定です。

【質問 8】

中野特別支援学校の仮設校舎を見学する機会をもらえないか。

【回答】

ご要望の点については、今後、課内で検討します。

○通学について

【質問 1】

高等部卒業後は、就労継続支援 B 型事業所での就労を希望しているが、スクールバスでの通学だと難しいという話を聞いている。仮設校舎が中央区となるが、そうすると距離が遠くなり自主通学のハードルが上がる。仮設校舎移転後の自主通学の考え方について教えてほしい。

【回答】

自主通学の取扱いについては、今後、港特別支援学校と共に整理し、改めてお伝えします。

【質問 2】

仮設校舎に移転することに伴う通学時間の増加についてどのように考えているか。

【回答】

今後、登校時間帯にスクールバスの試走を行い、実際の乗車時間を把握します。その後、スクールバスの増車やルートの設定など具体的な検討を実施していきます。

○スクールバスについて

【質問 1】

通学時間が延びることが想定されるが対応についてはいかがか。

【回答】

通学時間の延長については、今後、対応策を検討していきます。

過去に通学区域外に仮設校舎を設置した学校では、①スクールバスの増便、②放課後等デイサービスの送迎に対応するためのバス停の工夫を実施しました。

【質問 2】

スクールバスのダイヤやバス停の位置については、可能な限り早期に保護者に通知をしてほしい。

【回答】

ご要望について、港特別支援学校に伝えます。

【質問 3】

校舎の位置が遠く自主通学が出来ない場合に、通学手段であるスクールバスは確保してほしい。

【回答】

通学手段であるスクールバスについては必要な台数を確保するよう調整します。

【質問 4】

高等部は自主通学が原則と聞いているが、具体的にスクールバスに乗ることが出来る基準があるのか。例えば、愛の手帳が3度以上であれば乗ることができるのか。

【回答】

スクールバス乗車については、本日お話しいただいた内容について港特別支援学校と共有し、今後、学校と検討します。

○スケジュールについて

【質問 1】

仮設校舎に移転した後の運用などについて（例えば放課後等デイサービスの送迎や体育施設やプールなどの利用）、具体的な説明はいつ頃してもらえるのか。

【回答】

スクールバスや体育施設への移動など学校生活や教育活動に関する具体的な点については、本日いただいたご意見などを踏まえて、今後検討してまいりますので、しかるべきタイミングで改めて説明します。

【質問２】

仮設校舎への移動、本設校舎への移動は全学年が同時に行うのか。

【回答】

仮設校舎への移動、本設校舎への移動は全学年同時に行う予定です。

【質問３】

放課後等デイサービスの事業者の方にも仮設校舎移転に関する情報提供を行い、準備をしっかりとできるようにしていくべきと考えるが、今後、どのようなスケジュールで行っていく予定か。

【回答】

今後のスケジュールについては、今後実施する建物設計の中で具体化していく予定ですので、放課後等デイサービス事業者の方にも伝えていきます。

スケジュール以外の事項についても、適切なタイミングで情報をお伝えできるよう取り組んでまいります。

【質問４】

校舎改築の情報は今後どのようなタイミングで保護者に情報提供してもらえるのか教えてもらいたい。

【回答】

校舎改築の情報について、設計や工事の進捗などに応じて、適切なタイミングで提供する予定です。

【質問５】

この改築計画は都としてすでに決定されたもので、スケジュールも確定か。

【回答】

港特別支援学校の改築計画は、特別支援教育推進計画に開校時期等を記載しています。ただし、校舎の設計や工事等の入札状況によってスケジュールが変更される可能性があります。変更が生じた場合は、速やかに保護者の皆様に情報提供します。

【質問 6】

仮設校舎に通うことになる学年はどこまでか。

【回答】

現時点のスケジュールでは、令和 7 年度現在の小学部 1 年生から中学部 2 年生が、1 年間から 3 年間仮設校舎に通学する予定です。

○通学区域について

【質問 1】

改築後の小・中学部新設に伴う新たな通学区域については、現在どのような想定か。

【回答】

具体的な通学区域の設定については、港特別支援学校周辺の小・中学部設置校における児童生徒数の動向を踏まえまして検討してまいります。

【質問 2】

中央区在住の生徒が、港特別支援学校の仮設校舎に通うことは可能か。

【回答】

港特別支援学校の通学区域を変更する予定はなく、中央区にお住いの生徒の方は引き続き、江東特別支援学校が通学区域となります。

【質問 3】

仮設校舎の位置が自宅からかなり遠くなるが、例えば近隣の田園調布特支などに通学区域を超えて通うことは可能か。

【回答】

仮設校舎移転に伴うスクールバス乗車時間の延長などについては、走行するルートを工夫するなどして、乗車時間の短縮を図っていきます。

他校への通学については、ご要望として受け止めます。

○放課後等デイサービスについて

【質問 1】

仮設校舎における放課後等デイサービスとの連携はどのようなものを想定

しているか。

【回答】

中央区に仮設校舎を設けるにあたり、放課後等デイサービスの事業者による送迎が困難になる可能性がありますので、通学に関する対応については、今後検討してまいります。なお、過去に通学区域外に仮設校舎を設置した学校では、放課後等デイサービスの送迎に対応するためのバス停の工夫を実施しました。

【質問 2】

中央区の仮設校舎から下校すると放課後等デイサービスの利用時間が現在より遅くなることが想定される。そうすると放課後等デイサービスの利用時間が短くなり、支障が出てくることが想定されるが、下校時間を早めるなどの対応は可能か。

【回答】

いただいたご意見については、今後、港特別支援学校と共に検討します。

○保護者負担について

【質問 1】

自宅から遠くなるが送迎に対してサポートはあるか。

【回答】

保護者の方の来校に伴う負担軽減については、本日いただいたご意見を踏まえて、検討します。

【質問 2】

過去に通学区域外に仮設校舎を建てた際の対応した事例や現在、仮設校舎において公共の体育施設を借りて教育活動を行っている事例を共有してもらえないか。

【回答】

ご要望の点については今後、保護者の方に情報共有をします。